

具体的施策に対する意見一覧

8つの軸	施策名称	意見	会議名	
景観	I-1 デザインコードの設定	<p>居留地エリアや北野は異国情緒あふれ、建物のデザインや街なみの雰囲気が「神戸らしい」洗練さを醸し出している 都心に建設されているビルが、オフィスビル、マンションがデザインも含めてバラバラで統制感が薄い。 街全体を居留地のようなデザインにしてほしい</p> <p>駅前看板類が美観を損ねている。 港町としての歴史が育んだ街並み、文化などを大切にしていきたい。 通りから山と海が見える街歩きが楽しめる圧迫感の少ない街並みにしてほしい</p> <p>神戸の町なみ三宮の下のほうでは古くから建てられたすくなくきれいな景観、建物を見ることができ、本当にすごいと誇りに思っている 昔は好きだった神戸ですが、今は魅力がありません。客引きが多く景観を損なうネオン等、素敵な街にして欲しいと思った。 神戸のアイデンティティである旧居留地の景観は必ず維持すべき。現状維持だけでなく、建替の新築の際には周囲との調和のとれた外観とすることを義務づけることが必要。</p> <p>ソフトのつながり、広がりにより効果的にするため、地域性を持った統一感のある空間、景観が必要ではないかと感じます。</p> <p>歩きやすい歩道を維持していくことが非常に大切なことと考えております。ですから、歩道上の看板とか自転車のこととか、歩いて気持ちのよい景観のまちづくりですね、そういうちょっと基本的なことを将来もっと徹底してやっていくのが一番手始めの神戸の将来の形ではないかなと考えております</p> <p>三ノ宮駅の西口には、パチンコ屋がたくさんあり、東口にはゴミ捨て場があり景観が悪い</p>	<p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>対話フォーラム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第1回三宮構想会議</p> <p>中央区まちづくり会議提案</p> <p>中央区まちづくり会議提案</p> <p>未来都市創造に関する特別委員会提言</p>	
		<p>上海や香港のようにまちの一つのシンボルとして、デザインされた高層ビルがあるということも考えられる。</p> <p>港側の景観と建物のデザインとしての景観とそれらを裏で支える背後地の山としての六甲山の景観の3つの視点を束ねるような形で眺望景観の保全を考える必要がある。</p> <p>海から見た風景をもう少し人に近いレベルでもコントロールする、エリアマネジメントの考え方が、景観にも必要であると考える。</p> <p>同じビルをたくさん建てましょうというわけではありませんが、そのビルはデザイン的にも景観的にもある種の統一性がある方がよいと思います。神戸らしさを出した上で、その形状や外観、その色合いなども含めて、やはりシンボルになるような、駅ビルをつくっていただきたいと思います。 まちづくり協議会の機能強化による地域主体の景観保全の推進・地域主体の景観保全を推進するため、地区計画より実効性の高い制度をつくり、まちづくり協議会の機能強化を図る。</p> <p>建築物・看板などに関する規制強化・建築物の高さ・デザインや案内看板・店舗看板について、基準・ガイドラインを作成する。</p> <p>デザイン都市・神戸にふさわしい、個性的で特色を生かした景観誘導を、中心市街地を重点として行うこと。</p>	<p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>対話フォーラム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>	
		I-2 建物高さの規制・誘導手法の導入	<p>高層のビルやマンションを競って建てる東京や大阪とは違う、ヨーロッパの街の様な居留地付近の雰囲気を広げて欲しいです。神戸港から六甲山系が見える、今の風景を保って下さい。</p> <p>都心から山が見え、広い空を感じることができ、また山にも海にも歩いて行けるという「環境」そのものが、神戸の都心の最大のポイントであると考えます。これは、海も山も距離的に近いという地理的な側面のみならず、高層ビルが少ないため（他都市のように屏風のように高層ビルが立ち並ぶ光景がない）、視界が開けており、ビル風も少ないことに基づくでしょう。</p> <p>都市計画に一貫性がなく、建築物も乱雑過ぎる。一定の基準が必要。特に高層ビルによる港側から六甲山への景観が台無し。 まちなみが綺麗。山並みが見える。高層ビルが少ないので威圧感が少ない。 三宮には200m級のビルを建てるべきです。大都市神戸三宮の象徴としてランドマークになる存在感のある超高層ビルを建てるべきだと思います。いまやどこの国も高層ビルこそ大都市を象徴するようなものです 高層といえばマンションばかりが目立つが、ぜひ我々も神戸を再度楽しめる仕組みを期待したい。 近年神戸はタワーマンションが乱立し、せっかくの景色が台無しです。海からの景色もタワーマンションに遮ぎられ山が観えないし、山からの景色も変わってしまった。これ以上景観が悪くならないようにして欲しいです。 とにかく都心のビルを高層化するべきだと思います。元々土地の少ない神戸は、そうする事でしか活路を見い出せないのではないかと思います。「神戸名物、(超)高層ビル群」と言われるぐらいにならないと、駄目だと思います。 高層の建物は不要。南から見ると山の稜線を崩し、北から見ると夜景を崩すので建物にカメラを付け、北側は風景を南の壁に写し、南側も同様にし、一見透明のビルにしてはどうか。</p> <p>100年後には粗大ゴミとなる高層タワーマンションは規制すべきである。</p> <p>三宮再開発は敷地面積に限られています。渋谷に向かう時に感じていましたが、本日の説明にありました様に、渋谷型の高層再開発が望ましいと考えております。高度利用を計るべきです。 都心の高層ビルがかなり乱立して、特にマンションとかが増えたりして、それはそれでいい部分もあるんですけど、建物自体にデザイン性が乏しいというか、寂しいというか、どんどんまだそういうものが増えている。</p> <p>三ノ宮のスカイラインが揃っていない。海や山が見えるデザインにしてほしい。</p> <p>業務ビルに関する規制は現状必要ない。高層マンション等の住宅には規制が必要である。</p> <p>市章山や礎山が見える地点があるが、高層マンションなどで、見えにくくなっている。今後、まち中から山に向けての眺望、あるいは海に向けての眺望に関するルールづくりが必要である。</p> <p>船に乗っているときや街を歩いているときのように幾つかの視点を求めて見ていき、それでも六甲山の山を越えない高さにする必要がある。</p> <p>上海や香港のようにまちの一つのシンボルとして、デザインされた高層ビルがあるということも考えられる。</p> <p>都心部でゾーンを考えて高さ規制をすべきです。不動産が経済活力の要素の一つなので、折り合いを考えながらでない、経済活力がなくなってしまうと思います。</p>	<p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>第2回意見募集</p> <p>対話フォーラム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>都心の未来を考えるシンポジウム</p> <p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p> <p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>

8つの軸	施策名称	意見	会議名
景観	I-3 三宮駅周辺再整備に伴う景観整備	玄関口の三宮が高架で分断されており、2階部分、地上、地下の3層構造がつきはぎで、来訪者にとってわかりづらい	第1回意見募集
		駅前周辺の建築物等にデザインのコンセプトがない。奇抜なデザインの建築物もあり、街としての一体感に欠けている。	第1回意見募集
		三宮駅と元町駅が、街の玄関としての風格を備えていない。	第1回意見募集
		神戸の玄関口である三ノ宮の駅から出ると、狭い通路や高架下の見栄えが良くない歩道、段差が多い通路といった部分が多くあり、狭苦しく感じます	第1回意見募集
		三宮を神戸のメインターミナルと据え、政令指定都市としての玄関の顔を持つまちとなしてほしいです。	第2回意見募集
		まちのシンボルとなるようなものが無い気がします。例えば、電車で来た人が一目で三ノ宮駅に来たんだと感じるようなもの（特徴的な構造物でも良いですし、シンボルツリーのような緑も有りだと思います）がほしいです。	第2回意見募集
		三宮駅前、大阪駅のグランフロントのように、国際都市の玄関口にふさわしい開発してほしい	第2回意見募集
		神戸市の玄関口となる三ノ宮駅周辺の整備をして欲しい。出来ればランドマークとなるような大規模高層ビルを建てて欲しい	第2回意見募集
		三宮駅前（北側）：観光客を迎える顔（玄関）にする、例えばロータリーにして観光客、市民の憩える場にする。加納町交差点の平面通行（ロータリー化）にする。噴水を中央に配して神戸の水をアピール。	300人会議
		狭い三ノ宮駅舎の再開発をして、神戸の玄関口として心地良いものにする。（今はホームが狭い）→（ゆとりあるスペースの強化）	都心の未来を考えるシンポジウム
		駅前等に新たなにぎわい空間が必要だと思う。	都心の未来を考えるシンポジウム
		三宮駅は、玄関機能に徹していただいて、ファサードをきれいにすることで考え、場合によっては、どの部分をピロティとして位置づけるのか、どの部分をパティオとして位置づけるのか、要はそういう空間としてすっきりさせましようということが必要だと思います。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		三ノ宮駅を神戸の代表として考え、駅前空間に理想像を掲げなければいけない。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		三宮の駅前を交通体系も含めて抜本的に見直すことができるなら、将来的な対応としてターミナルの立体化も含めて検討する必要もあると考えます。現実的な対応としてあちらこちらに分散して配置せざるを得ないので、いかにバリアフリーで乗りかえや利用ができるかということが重要ではないかと思えます。例えば、ペDESTリアンデッキでつなぐ、あるいは乗り場の案内を充実させるなどが考えられます。三宮エリアが単に乗り換えの拠点というだけでなく一つの名所として、例えば、横浜のみなとみらいのような、三宮を総称するようなイメージと、実態あるエリアになることが必要だと思います。それに加えて三宮を神戸の玄関口というならば、そこからどのような手段を選択すれば神戸のどこへ行けるのかということがわかるような案内表示や情報提供などが、神戸空港や新神戸駅に必要ではないかと思えます。駅＝まち空間をどう楽しい空間にしていこうかといったときに、単に交通の問題だけではなく、景観や駅の背景に見える物や道路上の視線とデッキ上の視線の両方等々の交通だけではなく部分も考える必要がある。	第1回三宮構想会議
		1 番目に、神戸にふさわしい顔を持った玄関口がないのではないかと問いかけがありました。	「デザイン都市・神戸」創造会議
駅前に関わらずペDESTリアンデッキでも設けて、山が見えて、海のほうも見渡せて、神戸の地理的状況の魅力が伝わるような新スポットができないかということです。	「デザイン都市・神戸」創造会議		
神戸においては、陸・海・空の玄関口、すなわちJR新神戸駅・三ノ宮駅、ポートターミナル、神戸空港が、すべて南北直線上に位置することから、利用者利便の観点に立てば、将来的には、三宮を中心に、これらと結ぶ新たな交通体系の構築が大きな課題となる。	神戸海港都市づくり研究会提言		
歴史や文化、食、ファッション、ビジネスなど多彩な機能を360°にまたがって擁するJR三ノ宮駅だからこそ、来街者（特に歩行者）に優しいシンブルな構造とし、四方八方に人々が簡単、スムーズに街に出て行き、駅に戻ってくる流れ、『うごきやすさ』をつくる必要がある。	神戸海港都市づくり研究会提言		
JR三ノ宮駅周辺ビルの壁面あるいは駅前広場等、車窓から見える位置に神戸を印象付け、記念写真を撮りたくなるようなモニュメントを設置、駅との親和性に配慮しつつ、乗降客だけでなく通過客にも、神戸に「着いた」「帰った」と実感を与えるようなランドマークを設ける。	神戸海港都市づくり研究会提言		
三宮に降り立ったときに「神戸に来た」と感じられる、唯一無二のシンボルを生み出すこと。また、ソフト面からの演出を仕掛けること。	未来都市創造に関する特別委員会提言		
I-4	神戸らしいサウンドスケープ整備	「アート」はビッグイベントがあるが少々市民と遊離している現状、言うまでもアートだって商売ネタ、だからもっと小中規模でよいから質の高く話題性に富んだものを。・そしてもう少し頑張ってもいいのは「音楽」、KOBE JAZZ st.、新開地音楽祭等々、継続は力、加えて、もっとまちの中で日常的に露出されるのがよい。騒音とか言うちょっと年寄りもいるけれど、逆にそんな人たちにも一緒にやってみましょう。昔は開いてたんでしょ、やってたんでしょ。やはり音楽は人々を活気づかせる大きな要素。野外音楽フェスや中小規模の自由に入場できる開かれた音楽フェスがあってもよい（みなどのもり公園はとて素晴らしい感じ。様々なタイプの違う人たちが三々五々つれづれ使っている）※高齢者率の高まる神戸一年寄りを家に籠らせてはならない。労より励ませ。「年寄りよ、街に出よう。街に出て若者に教えを与えよ！」 新神戸駅で新幹線からLRTへ乗り換え、三宮駅周辺の高層ビルのオフィス街をくぐり抜け、レトロな雰囲気の良い旧居留地のブランドショップを散策した後、南京町で飲食を楽しみ、大型客船の旅情溢れる汽笛と、気持ちいい潮風を感じながらハーバーランドへ。これに乗るだけで、神戸を体感できる。こちよいいものは人それぞれで一概には言えないが、緑、花、小鳥のさえずり、波の音、お日さま、星空、風の音、生きもの、土、など、都心にあっても雑踏の中にほっとできる安らぎの空間をお願いします。 JR三ノ宮駅と駅前広場には、神戸らしい音（ジャズ）や香り（珈琲、パン）とともに緑や水を親しめる空間、映像やモニュメントで感じられる仕掛けを設け、山と海に囲まれた神戸を印象付ける広場として整備し、待ち合わせ憩いのひとときの場とする。 公共空間の整備やまちづくりにおいて、音響的な配慮を最大限に施すことにより、心地よい音環境を形成すること。	第1回意見募集 第1回意見募集 第1回意見募集 神戸海港都市づくり研究会提言 未来都市創造に関する特別委員会提言
I-5	光のミュージアム	お洒落な街灯が少ない。 光のミュージアムを早く全体で整備して、もっとPRしてほしい。とてもいい取り組みだと思う。時間をかけると飽きてしまいそうです。 元町～神戸間は「大人の散歩道」とすることを提案したい。特に夜。現在でも、メリケンパーク～ハーバーランド間は街灯がほのかに灯る良い雰囲気だ。 ところどころに、拠点に明かりのアートあるいはデザインが置いてあって、マップがあって、バスやLRTで巡っていく。 都心部の街路照明はすべて暖色系を基本とする。特別な日などは色調を変えることもできるようにする。市民・来訪者にとって、神戸の夜間景観を印象づけるための最も取り組みやすい方策となると思います。 ルミナリエを見た後に、神戸のまちじゅうを回遊する仕組みにはなっていない。世界にはまちを回遊させるような仕組みを持った明かりのイベントを仕掛けているところが幾つもある。	第1回意見募集 第1回意見募集 第1回意見募集 第1回意見募集 都心の未来を考えるシンポジウム 第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会

8つの軸	施策名称	意見	会議名
にぎわい	II-1 東遊園地の活性化	街のなかに緑というか、公園が少ない東遊園地はありますが、公園としてゆっくりとできるような空間ではありません。	第1回意見募集
		国道2号、高速道路、ハーバーハイウェイを地下化し、跡地を東遊園地及びみなとのもり公園、メリケンパークと一体化した公園（緑地）にしたい。⇒そうすれば、緑を感じながら、三宮～ハーバーランドまで散歩することができる。また、山側から海が見えるようになる。	第1回意見募集
		三宮から東遊園地まで地下に動く歩道を作る	第1回意見募集
		公衆無線LANの整備・土地を芝生化し、無線LANを整備して憩いの場であると共に仕事もできる空間として東遊園地を整備できないでしょうか。	第1回意見募集
		東遊園地を2階にして上に運動場を作り、その下を全部バスの乗り場にする、そういうことも考える必要があるのではないかと思います。	第1回三宮構想会議
		東遊園地を芝生化、そしてイベントパーク化、Wi-Fi（無線インターネット）を常備したい。	「デザイン都市・神戸」創造会議
		東遊園地については、芝生化やWi-Fiフリースポットの設置、多彩なイベントの開催などにより、日常から市民やビジネスマン、観光客を呼び込むこと。	未来都市創造に関する特別委員会提言
	II-2 にぎわいの拠点づくり（鯉川筋）	産業事業団が起業家にむけて、格安でハーバーランドで貸しスペースをしています。フラワーロードや鯉川筋の道沿いに「賑わい特区」のようなスペースを用意して、起業家や学生集団のアイデア実現のためのハウスならびにアンテナショップを誘致するような方策はどうか。勿論、多層階ではないシンプルな建物でいいと思います。学生にコンペさせるのもいいかも。	第1回意見募集
		元町1丁目～3丁目は老舗店が中心に昔より更に発展をうながし、大丸百貨店と一体になり、お客様の流れで活気があります。これからも、やる気、アイデアなどに品格のある神戸らしい街となると応援します。	第1回意見募集
		「元町駅からメリケンパーク」へのアクセスが悪い	第1回意見募集
		三宮・元町・ハーバーランドという大きな商業地と、北野・南京町・メリケンパークという観光地が徒歩圏にコンパクトにまとまっていて、その間に博物館やスイーツ・海外の料理店などの滞在できるスポットが点在している	第2回意見募集
		元町（栄町）は、重要文化財である建物も多く、それらをリノベーションして、路面店を増やして、古きよき雰囲気を残した味わいのある街にしてほしい。	第2回意見募集
		“観光客が「また神戸を訪れたい」と思えて、地元の人でも活動しやすく、神戸らしさを日々感じられる街”にする。「おしゃれな街＝神戸！」として、注目されるであろう旧居留地・栄町エリアをさらに盛りあげ、たくさんの人が利用するようにする。	第2回意見募集
		にぎわいのある南北動線（鯉川筋など）のモール化。メリケンパークに行きやすくしてほしい。	都心の未来を考えるシンポジウム
	II-3 BID制度（エリアマネジメント）、三宮駅前空間BID	三宮中央通りというのは、センター街の南側に平行して、居留地との間にあるわけですが、この中央通りがちょうどある場所、フラワーロードから鯉川筋の間ですが、このエリアをきちんと組み立て直していかなないと、結局、三宮駅だけがよくなるということになり、だめだと思います。三宮から元町に至るまでの間を、交通機関も含めてどんなふうに組み立てていくのかということが、都心の構想を詰めていく中で、どうしても必要なこと	第1回三宮構想会議
		フラワーロードや旧居留地、ウォーターフロント等を巡る快適な歩行者空間の整備	神戸海港都市づくり研究会提言
		神戸はエリア毎の特色がはっきりしている。三宮～元町は繁華街。新神戸～三宮は異人館やレストラン街。神戸駅はハーバーランドに代表される港町。	第1回意見募集
		コンパクトな神戸の都心部において、エリア毎にまとまった個性がある、雰囲気が異なる街として発展してほしいと思います。例えば、新しいイノベーションを発信する基地として、駅前には常に最先端を行く都市の街。近代の雰囲気を遺している街、旧居留地。自然を感じられ、海との融合がなされたベイエリア。カフェや雑貨が集まる神戸の坂を感じる街、北野。	第1回意見募集
		色んな特色の組み合わせが神戸のユニークさ	第1回意見募集
		元町～神戸は？元町～神戸間だけ他の区域に比べると特色がはっきりしていない印象	第1回意見募集
		エリアごとにその街の歴史があり、コミュニティがある。それを壊すと、そのエリアは死んでしまう。ex) 新長田地区の再開発・一方で、三ノ宮駅周辺のように、以前からビル群のエリアでは、常に「最先端」を求められていると思うが、逆に陳腐化してきている。・歴史的伝統、高架下のディープな雰囲気等は残しながら、一方で未来につながるプロジェクトを望みます。神戸は何を目指す。中央区エリアは観光地、繁華商業地エリア。北区、西区、東灘区、灘区、垂水区は住居エリア。長田区、兵庫区、須磨区は伝統エリアを明確にし、エリアごとの計画策定が必要。	第2回意見募集
エリアマネジメントのお話があったが、市民、来訪者（観光客）企業、行政にとっての最適な選択をどう導き出すのかに興味を覚えた。	都心の未来を考えるシンポジウム		
非常にわかりやすく、そして、都心づくりにおける神戸市の進むべき方向性を示して頂いたエリアマネジメントの仕組みが構築すれば実現できることがわかった。	都心の未来を考えるシンポジウム		
医療産業など、他都市が真似できない要素を活用しながらエリアの開発を行う必要がある。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
神戸の場合は、多様な地区が接続しているという特徴があるかと思っています。例えば、バンクーバーでは小さなまちの中に20以上のBIAが動き、ストリートごとに非常に特徴を掲げながら積極的なまちづくりをしています。これからこの三宮を核にした、そうした地域の人たちを中心とした、推進力としたまちづくりのような仕組み、仕掛けをぜひともつづけていただきたい。	第3回三宮構想会議		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
にぎわい	II-4 JR三ノ宮駅新東口	「三ノ宮駅」周辺施設が古く、東京駅、京都駅、大阪駅等の大都市と比較して大きく見劣り。	第1回意見募集
		J R三ノ宮駅の東側や阪急三宮駅の北側がぼろい、汚い。	第1回意見募集
		J R三ノ宮駅の東口を神姫バスターミナル付近に、神姫バスは駅前集約・J R三ノ宮駅のもっと東寄りに新東口があればよいと思います。	第1回意見募集
		J R三ノ宮駅の東側、北側、サンプラザ、センタープラザの再開発してください。	第1回意見募集
		三ノ宮駅の西口には、パチンコ屋がたくさんあり、東口にはゴミ捨て場があり景観が悪い	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		J R三ノ宮駅の改修において、東改札口を新設し、これらの地域を活性化させ、都心部全体の進化を促す起爆剤とする。	神戸海港都市づくり研究会提言
		三宮東部をはじめ老朽化する施設・街の再整備	神戸海港都市づくり研究会提言
		三宮東側の動線を強化することにより、三宮東地区へのアクセスを向上させること。	未来都市創造に関する特別委員会提言
	II-5 第一突堤基部再開発 ウォーターフロントの にぎわいづくり	都心海岸部（三ノ宮～メリケンパーク）に商業・観光施設がなく、一般人や観光客はそちらに向かおうと思わず（人の流れがなく）、一体して活性化していない。	第1回意見募集
		メリケンパーク、あるいは第一、第二、第三埠頭、この辺をもっと、計画はあると思うんですけども、急いで頑張る必要があるんじゃないか。	第1回意見募集
		元町地区の衰退。メリケンパークの緑化や休憩場所、夜間照明の不足。同公園へのアプローチの悪さと、モザイク地区への連結の悪さ。これは三宮地区の市役所以南も同様です。大阪などにならって大箱の施設を作るより、連続とした個性ある店を南北の道路に誘致したほうが、治安や集客の面からいいと思います。	第1回意見募集
		三宮・元町からハーバーランド・メリケンパーク、もしくはその逆向きに歩く時、一瞬さびしくなる間を埋めてほしい。プロムナードのようなもので回遊性を高めてほしい。	第1回意見募集
		海をもっと近くし、世界中から海辺でリラックスできる街は神戸と思われるようになってほしいです。都心部は、デパートやカフェがある程度揃っており生活には不自由ですが、どこにでもある街と同じで魅力的には映りません。三ノ宮駅の改修で高層ビルができたからといって全く訪れる理由にはなりません。もちろん駅の外観も大事ですが、神戸の永久普遍の魅力は都心部から海が距離的に近いことです。ですので、買い物の途中に、仕事帰りに、ちょっと休んだり、考え事したりしてから帰れるくらい、海への距離を近くしてほしいです。	第2回意見募集
		散策したくなるような場所。それには節角神戸のシンボルであるポータルタワーがありまうのに、入場者数も以前程ではないようです。あのあたりには海洋博物館、川崎記念ホール、映画発祥の地の記念碑などもあり、南にはメリケンパークホテルもあります。あのあたりの空間に中突堤公園、大人も子供も楽しめる遊園地をつくってもらいたいです（ウォーターフロント）切望しております（元町のにぎわいの再開発）	都心の未来を考えるシンポジウム
		メリケンパークに行きやすくしてほしい。	都心の未来を考えるシンポジウム
		都心再生においてはウォーターフロントの活用も必要である。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
ウォーターフロントの視点も将来を見据えていく上では重要である	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
生活・居住	Ⅲ-1 ファーマーズマーケットの導入	西の産物を全国に西区の野菜、淡路の産物、明石の魚を買ってその場で宅配で送れる産直市場を三宮駅東ダイエーあたりにつくる。西のものを求める東に住む人はこれからもずっとというはずー。	第1回意見募集
		地産地消したいのに県産品が売ってない、なかなか見ない	第1回意見募集
		例えば、「神戸牛」など食の名物を安心して紹介して、かつ、分かりやすい店が集まる場所がありません	第1回意見募集
		なぜ農業の話がないのか？ワールドカフェやクリエイティブクラスに疎い日本人ではあるが、神戸の人々だけはそんな議論に長けた集合体になれば、新しい神戸に向かうかと。	都心の未来を考えるシンポジウム
		一つ目は、名産品、地域の有名品。それを一生懸命売るといこと。二つ目は、観光客を大勢呼ぶための観光施設。三つ目は、商業施設。この三つを合い持って、その地域は活性化されていくということです。我々の役割である商業施設は、ハードだけでなく、中身のソフトも充実しないと魅力につながってこないと思いますので、その辺を議論させていただければと思っています。 「地元で買おう」、「地元で食べよう」ということがスーパーの多くの商品に張ってある。例えばスーパーさんに協力してもらおうとか、地元のお店にもお願いして発信していくことによって、それを主婦の方も見られたり子供たちも見られたりというのを、どのようにやっていくかを考えなければいけないなと思いました。	第1回三宮構想会議 「デザイン都市・神戸」創造会議
	Ⅲ-2 街遊び拠点の整備	神戸はといえば素晴らしい場所、モノ、ヒトが揃っています。例えば日本酒。日本のどこの地区にも負けません。あちこちで日本酒振興のイベントを企画してもらい、市民発想の身近に灘のお酒に親しんでもらう啓蒙活動は民間だけでは出来ません。神戸マラソンに始まり、健康のため、街を走るランナーが増えています。ランニングコースの整備も大切ですが、芦屋市と比べて、コンビニエンスストアのトイレではなく、公衆トイレの整備が遅れていると思います。きれいなトイレ、しかもメンテナンスが簡単なトイレがあれば、予算も削減できて清潔に安全に利用出来ます	第1回意見募集
		神戸マラソンの開催も定着したことから、ポートアイランドや都心部を結ぶランナーやサイクリングのためのルート開発やレストハウスの整備もかねて、先ほどのターミナルと併せた小規模な拠点づくりを都心部の（遊）歩道や駐車場になっている未利用地の活用整備を行うことで推進すると良いのではないのでしょうか？観光とスポーツと日常生活の結びつきを考えながら市民交流が出来る仕掛けができると素晴らしい。拠点づくりは現在のバス停でも工夫出来ると思います。冬の六甲おろしのきつい日では、屋根しかない待合い場所は、高齢者にとっては厳しいのでは？こうしたデザイン提案を広く市民や専門家に募ることも有意義ではないでしょうか	第1回意見募集
		商業は盛んであるが、スポーツ施設がないため作ると、よりよくなると思う。	第2回意見募集
		都心について観光でなく定住者を増やす。ソフト：地域の人たちが老若男女自然に集まりやすい場であってほしい。ハード：広場あるいは欧米のスポーツクラブのような地域で子供たちを見守れるようなクラブハウス1870年からKR&ACのような心優しいスポーツマンシップを育てるクラブを中心に神戸をアピールする。	300人会議
		公園の照明等、マラソンが昼夜問わず出来る環境を！	都心の未来を考えるシンポジウム
	Ⅲ-3 子ども預かり施設	子供が生まれてから、仕事以外では三宮に行く機会が減った。三宮には、映画や買い物を楽しもうにも託児施設がないし、子供を遊ばせるような遊具施設もない。ハーバーランドにはこべっこランドがあるものの、こちらも託児施設はないため映画や買い物をゆっくりできない。また、トイレについては三宮の市民トイレは和式トイレが多いが、小さな子どもは和式は使えない	第1回意見募集
		神戸港の突堤に新しい体験、劇場型水族園を建設。ウォーターショーが鑑賞できる施設の誘致。海洋生物等の生体を調べたり学ぶことのできる海に浮かぶ洋上学校の建設。魚の養殖施設としてレストラン一体運営の建設を誘致する	第1回意見募集
		子連れでも都市部で買い物やレジャーを楽しめるような環境の整備	第1回意見募集
		関西在住の子育て中の友人が多く、カップルで遊びには行きやすいけれど、小さな子供がいると行きにくいという話を聞きました。授乳室がある場所、カフェ（化粧室や子供室がある場所）など、そういった情報があるといいのにとのことでした。	対話フォーラム

8つの軸	施策名称	意見	会議名
生活・居住	Ⅲ-4 有料パウダールームの整備	街中に”ちょっと憩えるような場所（空間）”が足りない（街中にベンチが少ない、路上でオープンカフェをやっているも期間限定）。	第1回意見募集
		街中の至るところに設置する円形のベンチについて・現在センター街で縦型のベンチが設置してありますが、縦型のベンチがまばらに置いてあるだけで座っている方が目立ちすぎて晒し者状態になっています。あれではゆくりに休むことはできません。	第1回意見募集
		NYのセントラルパークのような緑あふれる空間が必要。管理は大変かもしれませんが、芝生を敷いたりベンチをもっと増やしたりと、都心の中でも喧嘩を忘れてのんびりできるような空間があればいいのではないかと思います	第1回意見募集
		回遊できる街にする。休める場所を作る（ベンチをもっと設置する）	300人会議
		トイレや公園の整備を行ってほしい。（特に阪急や地下鉄の三宮駅）。	300人会議
		観光スポットが点在しており、面的な周遊性に乏しい。ペリエリアを強化し、滞留時間の取れる施設をつくる。	300人会議
		三宮駅を利用したさいに、少し座りたくなっても、まちなかにベンチがないため、うろうろせざるを得ないことになります。ベンチをおくという提案に賛同します。	都心の未来を考えるシンポジウム
		回遊の途中に休憩できるスペースなどがあればよい。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		神戸の特徴的なところを周遊しながら、休めるスポットをつくっていくと、観光の方だけでなく住民にとっても、神戸の雰囲気味わえるものができると思う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		歩行者空間の整備については、歩行者空間を創出していくと同時に、滞留空間とか魅力的なスポットを計画的に配置し、それらを連続的にネットワークとしてつないでいく。これによって、歩いている人が歩くにつれてわくわくするような演出をしていく。そうでないと今あるものがそのままあるだけでは、なかなか回遊行動というのは促せないのではないかと思います。点在したスポットの間をどうすれば歩いてもらえるのかということを考えて仕掛けを作っていく、そういう工夫をしていく必要があると思います。	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	平常時は、歩行者の憩いの場として、災害時は、一時的な避難場所として、滞留できる空間を設けること。	未来都市創造に関する特別委員会提言	
	Ⅲ-5 都心居住の促進と抑制	現在の神戸の都心では、そこかしこにマンションが増え、以前は業務・商業地域だったところが住宅地化しつつある	第1回意見募集
		神戸生まれの若者が神戸で職を得ることは困難。都心にはマンションより業務、研究開発機能を。	第1回意見募集
		北野、元町・栄町、中(下)山手などの都心地域には、まだまだそういう歴史的な雰囲気や環境が残っており、神戸らしさを生かしながら今の時代に合った都心居住のあり方を考え、都心の賑わいに寄与し、新たな生活文化を生み出してくれる人々を呼び込むような居住環境づくりや住宅供給を誘導していくことが、まちの活性化になり、ひいては来街者や観光客への魅力づくりにも繋がっていくと思う。	第1回意見募集
		神戸の最大の魅力は住環境ですが、神戸の都心は職住食遊学が近接したMixed Useなまちとして、クリエイティブな人を引きよせ続けることによって、未来を創る境界のまちとしてのDNAを生かし続けることができると思います。	第2回意見募集
		都心回帰の傾向か、神戸中心部にも分譲マンションばかりが増えているような気がします。商業の中心として、行政が進めている中心市街地の活性化、もっと手厚く進めて頂きたいと思います。また、利便性の高い外縁部での宅地用地の確保など、エリア別に重点的に産業を配置し、より住みよい、働きやすい街になってほしいです。	第2回意見募集
		三宮の良さ、小さな店舗がひしめきにぎわっている事。散歩するように街を回遊できること。酒、ファッション、海、山…魅力的な素材が多くある事。デートしたくなる街。いろいろありますがそれらをつぶさない都市ビジョン。大阪や姫路のように大型の商業施設や高層マンションとするのではなく、だれでも気軽に使えて情報発信できる開発としてほしい。	300人会議
		私は、若い世代がより多く居住する事、まちで生活することが、都心の活性化のための第一条件だと思っています。	都心の未来を考えるシンポジウム
		ウォーターフロントでの住環境と言う話がありましたが、新港町の再開発を考えるにあたって、集合住宅があっても良いとも考えています。但し、経済的なものだけでなく、スウェーデンのオスロの様なウォーターフロントの集合住宅が参考になるのではないのでしょうか。ウォーターフロントが市民の賑いをみせると、観光にとっても大きなメリットとなるはずだ。	都心の未来を考えるシンポジウム
		自分とこの店の上に住んでいたという経験があります。やはり住んでいることによるメリットというのは、今考えてみるとものすごく大きい。都心というか、まちの中に人を住ませて、それもできたら商売人であれば自分とこの近くに住むという作業をすることによって、早く店が閉まるのか、そういうものを少しずつ変えていくことが可能になるかというふうな気がします。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
海沿いがマンションばかりになってしまうと、商業の目玉になるような、海へ向かっての景観や山へ向かっての景観を誰もが楽しめる環境を失ってしまう可能性がある。景観、にぎわい、回遊性、都心居住の点で重要だと思う。		第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
都心居住というのは、非常に趣向性の高いものであると思う。しかし大規模な集合住宅ができ、居住者が入居した瞬間から高齢化が始まり、その都市機能そのものが低下していくということを考えると、ある程度の規制をかけて、エリアをしぼったほうがいいと思う。	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
都心居住の増加は、まちの活力につながっていると感じていたため、規制するというのはどうかと思っていたが、観光客が集まってほしいところと、そうでないところを分けて考える必要があると思いました。都心でも観光の目的として居住を規制するところを定めて、そうでないところは都心であってもどどん住んでほしいというように分けて考える必要があると思います。	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
まちは生産年齢人口がないと活力を持ってないし、生活の質も守れないと私は思っています。働き場ができたときに、教育や医療といった社会的都市インフラを整備して、職住近接型で都心部に住む方がいて、また小さなお子さんもいて、定住人口が増える。都心部における経済的な活力はそれによって出てくるだろうから、神戸においてもそこを目指してもいいのではないかなと思います。	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
観光客のためにするまちづくりでもなければ、通勤客の利便性のためにやるまちづくりでもない。やはりこの近隣に住んでいらっしゃる住民の方、それから、神戸市民の方がまちに出てきて何か楽しむというようなことのためのまちづくりというのが、一番のテーマになってくると思います。	第1回三宮構想会議		
三宮南地区は、三宮ターミナルの南東部、中央幹線と税関線、浜手幹線、生田川に囲まれる地域です。三宮南地区には会社、事務所だけでなく、近年は小売店や飲食店、マンションも多く、多様な機能の複合性、雑居性がこの地区の特徴だと思っています。	第1回三宮構想会議		
J R三ノ宮駅周辺整備においては、大規模な商業施設の開設ではなく、周辺の店舗・施設との連携・調和を重視するほか、オフィス機能の充実等をはかることにより、街全体としての価値を高める必要がある。	神戸海港都市づくり研究会提言		
まちのバランスに配慮した神戸らしい駅前の再整備・三宮センター街やそごうなどの商業施設の状況を踏まえ、まちのバランスに配慮した駅前の再整備を行う。	中央区まちづくり会議提案		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
産業	IV-1 アクセラレーション プログラム	医療産業都市構想については、病院は増えているものの、肝心の産業化を行う企業や仕組み、人が不足している。	第1回意見募集
		インビジブル・コンチネントとも言われるバーチャル・ワールドの出現と共有と一般化が世界を爆発的に変えています。その中で、適応性の高い人材や産業を沢山輩出し、嫉妬を買わないように他都市とシェアし、ともに日本や世界の発展や平和に貢献していくビジネスモデルが求められます。その中で、優秀な人材やそれを支える普通の人が沢山必要になります。	第1回意見募集
		また個人的なことですが、私は現在某大手総合化学メーカーで新規事業企画の仕事をしています。神戸が大好きなので家は神戸に購入し、家族は住んでおりますが、平日は残念ながら東京勤務で単身赴任しています。私のようにかなり強い神戸への思いがあるにも関わらず、神戸に働く場所がないため忸怩たる思いをしている若者が多くいます。私のような者が神戸で働けるような仕組みを作って頂きたいです。将来は、神戸の活性化に携わるべく神戸の企業や、あるいは神戸市での勤務機会を希望しております。	第1回意見募集
		神戸は、もともと畿内が終わるところであり、開港以前から、常に外と内の境界にあったまちだと思います。新しさへのチャレンジがあるからこそ、文化も産業も根付いたのだと思っています。神戸の最大の魅力は住環境ですが、神戸の都心は職住食遊学が近接したMixed Useなまちとして、クリエイティブな人を引きよせ続けることによって、未来を創る境界のまちとしてのDNAを生かし続けることができると思います。	第2回意見募集
		学園都市や郊外にある大学のサテライトキャンパスを誘致や、神戸空港を貨物専用空港にする等、神戸の個性を発揮できる産業誘致を望む。	都心の未来を考えるシンポジウム
		阪急さんやJRさんが建て替えるをするとういうことですが、R&Dみたいな機能も検討いただきたい。高齢化社会を迎えて、また勉強したいという人もいるので、そういったところの提供もお願いしたいと考え持っております。	第3回三宮構想会議
		民間資金や、それから民間の英知が導入されている、その例が少ないのではないかと。	「デザイン都市・神戸」創造会議
		企業誘致というよりも、おもしろい人を誘致することが大事だと。インキュベーションオフィスよりも、すばらしい生活、住環境を充実させていったほうがおもしろい人たちが来る。	「デザイン都市・神戸」創造会議
		新しい起業のスタイルというのを引っ張ってこないといけない。	「デザイン都市・神戸」創造会議
	クリエイティブシンカー、つまりアーティストやデザイナーにとどまらないクリエイティブな仕事についている人たちが多く住んでいることが、文化的な町の魅力をつくり出すのに重要だと思っています。	「デザイン都市・神戸」創造会議	
	優れた神戸ブランド店（神戸らしい店など）への顕彰制度やオーナーへの助成制度（家賃補助等）を創設し、既存神戸ブランドの振興を図る。	中央区まちづくり会議提案	
	若者にも配慮した起業支援制度の充実・神戸の学生や、神戸出身の若者への起業教育や、起業にチャレンジしやすくなるよう支援制度を充実する。	中央区まちづくり会議提案	
	IV-2 「神戸スタートアップオフィス」スペース	まず、現在の市役所2号館を建て替えるべきだと思います。新築の建物は、現在の市役所1号館のように高層化し中央区役所の機能を集約させるべきだと思います。また、高層化して余剰なスペースが発生するかと思いますが、そのスペースは起業を志す若者や、芸術家たちに低賃料で賃貸し、チャレンジする若者をサポートする場にするとよいかと思っています。	第1回意見募集
	三宮駅周辺、阪急と地下鉄の乗り入れや、阪神、JRの利便性を考え、地上でも各交通機関の連携を円滑にし、JR大阪をめざしナレッジキャピタルのような空間がある施設に改装してゆく	「デザイン都市・神戸」創造会議	
	クリエイティブシティーという、クリエイティブシンカーの活躍の場という意味では、このKIITOをもっと活用していただいて、さまざまなイベントをもう少し活発に行う必要があるのではないかなと考えています。	「デザイン都市・神戸」創造会議	
KIITOなど既存施設を、デザイナー育成活動やデザイナー工房を集約することにより、新しい神戸ブランドの育成拠点として活用する。	中央区まちづくり会議提案		
「学ぶ」・「働く」・「住む」・「憩う」、あらゆるライフステージやライフシーンにおいて若者が集まる環境の整備、機会の創出を図ること。	未来都市創造に関する特別委員会提言		
IV-3 IT産業活性化、オープンデータ活用	情報発信機能の強化・Wi-Fi環境等や各種情報アプリの整備が重要。多言語化された情報提供が不可欠。・観光情報だけでなく日々のイベントやグルメなど幅広い情報発信を行うため、市内各施設、店舗、さらには市民などからの情報提供システムの構築。・神戸国際観光コンベンション協会やひょうごツーリズム協会等の観光・情報に関する主要施設・機関を誘致することで、神戸の玄関口に相応しい情報発信施設として位置づける。	第1回意見募集	
山と海が非常に近く、高密度の街が形成されているため、歩いて観光地や商業地区を見てまわることができる。このことから、観光について、考えた場合、より歩きまわりやすくするため歩道の拡張や市がつくる観光用アプリと観光地のWi-Fi整備をすすめることで、市外の人や外国人にも歩きまわりやすい都市を作ることができること。	第2回意見募集		
情報発信が弱いことは10年以上前から言われてきており、いまだできていないのが問題点である。	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
区民、事業者、行政が連携し、あらゆる情報通信手段を活用し、神戸のまちの魅力を積極的・効果的に情報発信するなど、シティプロモーションに取り組むとともに、ホームページなど情報管理ができる人材の育成を行う。・神戸の強みである、各国料理やパンなど「食」産業について情報発信することにより、まちのにぎわい創出を図る。	中央区まちづくり会議提案		

8つの軸	施策名称	意見	会議名	
産業	IV-4	夜の商店街活性化	商店街を活性化して、三ノ宮～神戸までを通りを楽しく、興味がある店を出してほしい。	第1回意見募集
			神戸の街をもっと活気あふれる都市にするためのイベントとして「元町商店街大文化祭」を提案します！神戸にはたくさんの小中学校、高校、大学があるのに、その学生たちの自治的な活動がどうしても校内に限定されがちです。せっかくそれぞれの文化祭ではたくさんの面白い出し物などがあるのに見てくれる人が少ない。そして小学生、中学生、高校生、大学生の交流も決して多くはありません。もしもそんな学生たちが一堂に会して文化祭を行ったとしたらとても盛り上がり、たくさんの方が来場するイベントが出来上がると思います!!! 場所は必ず、元町商店街！三宮のセンター街に比べて元町商店街は来客数が少ないように感じます。しかしアクセスの良さはセンター街にひけをとらないですし、人々にとって魅力的なイベントがあればそれこそたくさんの方が訪れるはずですよ!!!経済効果もあり元町商店街が活性化されることは間違いないですよ!!!!	第1回意見募集
			JRの線路下に商店街があるが、シャッターが閉まっているところも多く勿体ないと思う。・線路下に立ち寄りやすいショッピングゾーンが出来れば山手と浜手の動線が繋がり、より神戸都心が活性化すると思う。	第1回意見募集
			センタープラザ、サンプラザは終わっている。あんないい場所に、あんな意味のないぼろい、汚い建物はやめてほしい	第1回意見募集
			おしゃれ、かつ海と山があることが最大のセールスポイントである。ただ実際おとずれてみるといがいとざったで商店街はさびれており、これといって魅力的におもえない。もう少し駅付近を山手や海手のようにきれいにすべきだ。	第2回意見募集
			三宮のセンター街は開くのが遅く閉まるが早いです。センター街以外にもこんな感じなのでせめて開店時間は朝の9時、夜は12時まで延長してほしいです。	第2回意見募集
			既存の場所で有効利用、活性化出来ないエリア、例えばボーアイ、六アイ、ハーバーランド、元町商店街西側、三宮センタープラザ等に補助も含め手を差し伸べ、より観光の目玉を作るべき。	300人会議
			センタープラザのあるプラザ通りにもっと活気を。	300人会議
			商店街があれば、そこを活性化して、それから発言をするということが大切だと思う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
			歩いて楽しい都心というのが強みだと思うので、魅力的な商店街や、オフィス街を市の内外から人を引きつけるような場所にしていくことが大切だと思う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
			都心の商業及び業務の拠点機能が弱いのではないかと。	「デザイン都市・神戸」創造会議
			「親自然都市」というキーワードです。やはり神戸の魅力は、海と山が近くて、約2キロメートルの移動で山・都市・海が感じられるということが特徴だなど。	「デザイン都市・神戸」創造会議
神戸の商店街にふさわしい店舗への運営費の助成や、活性化のためのイベントが実施しやすくなるよう、既存の助成制度をはじめ、商店街の主体的な活性化方法の検討を行う。	中央区まちづくり会議提案			
お洒落な屋台の出店を継続的に行うことにより、活性化を図る。	中央区まちづくり会議提案			

8つの軸	施策名称	意見	会議名
観光	V-1 夜間景観整備	日本三大夜景と云われても、この夜景を夜間手軽に見に行けるような場所すらありません。これでは観光資源の持ち腐れです。	第1回意見募集
		JRより南側は夜の人通りが少なすぎる。特に波止場のエリアは殺風景。	第1回意見募集
		高層ビルの夜間のイメージライトアップ、ビル毎に言葉を決め連続した夜景を作って募集した言葉等で飾り、街の一体感をイメージできれば。	第1回意見募集
		港町というイメージも強いが夜景がとても美しいので摩耶山の他に良い夜景スポットなどを推して、昼はショッピング夜も楽しめる大人の街のようなイメージを持たせて、幅広い人々に愛される街にして欲しい	第2回意見募集
		神戸といえば「おしゃれなまち」と言われるように、夜間のイルミネーションなどがとても印象深い。山の上から見る夜景も、海から見る夜景ともきれいで神戸の誇りだと思う。	第2回意見募集
		夜景の世界一のきれいさを目指す。（北野、南京、ウォーターフロントなどエリア毎にあかりの色温度の統一、LEDの活用など）→宿泊客にもつながらる	都心の未来を考えるシンポジウム
		神戸は夜間景観都市のイメージがある。遠景夜景（山から）と近景夜景（海から）の整備が有効ではないか。港湾都市をもっと活かしてほしい。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	神戸の強みはそもそも夜間景観にあると思うので、ベイエリアや旧居留地等を面でつなげていくとより良くなると思う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	小型の遊覧船で港からの景色や夜景を楽しめるよう小さな船乗り場を整備してはどうか。神戸は過去の建築物を大切にしてきたが、これから整備するものも後世に残していけるようなものにすべきである。	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	V-2 玄関口の整備	「新神戸」と言えば「〇〇」、「神戸のウォーターフロント」と言えば「〇〇」と言われるような核になる場所（空間）・施設・スポットが欲しい。	第1回意見募集
		新神戸の駅から地下鉄の駅まで暗い長い通路で結ばれている。神戸の玄関口の一つとして改善して欲しい場所の一つである。かつての新神戸オリエンタルホテルが入っていた建物も、ビルのあちこちが空き店舗で薄暗い感じがする。・新神戸からポートアイランドに行くためには三ノ宮駅でポートライナーに乗り換えるか、タクシーで行くしか方法がない	第1回意見募集
		神戸港のような美しい「みなど」には、華麗なクルーズ船やヨットが良く似合う】ウォーターフロントには、やはり華麗なクルーズ船やヨットが一年を通して毎日浮んでいるようになることが望ましい。このためには、まずクルーズ船の入港数を現在の年間100隻から300隻程度に増やすことを目指そう。このことは、神戸港の振興と併せ、国外観光客の誘致策（ビジット・ジャパン3000万人計画）にもマッチして一石二鳥である。その方法として、①神戸港を母港とする瀬戸内海クルーズのウイークリー実施（年間50回）（注：ライン河クルーズやオランダのキャナル・クルーズ、タヒチのウイークリー・クルーズが参考になる）、②上海、香港発着のアジアクルーズを、奈良、京都、姫路、瀬戸内海沿岸諸都市と連携し、日本の玄関港である神戸港への寄港を誘致する（年間50隻）、③開港5都市（神戸、横浜、函館、新潟、長崎）と連携を密にし、クルーズ船社とも協働して日本一周クルーズの定期化を図る、④函館港と連携して、神戸—（瀬戸内海、日本海）—函館間で、北前船クルーズ（仮称）を開発する（注：③④に関しては、ノルウェーの沿岸急行船が参考になる）、⑤2014年から本格化する神戸港を母港とした外国船による国内クルーズの定例化、⑥既存の年間100隻を横浜以上の200隻を目指す、といった努力が必要であることは言うまでもない。こうして、毎日華麗なクルーズ船が神戸港に停泊するようになる、自ずから人が集まってくるようになる。	第1回意見募集
		新神戸近辺も、せっかく新幹線が止るのに、高層マンション以外とくに何もないので、坂道をあがってでも行ってみたい、新神戸で降りてみたいと思わせる施設がほしい。	第2回意見募集
		新神戸駅へのルートをもっと便利にわかりやすく。駅周辺への道筋が複雑。それでなくても三宮駅と離れて不便なのに。	300人会議
		都心の玄関はやはり「新神戸」だと思います。新神戸駅から三宮駅、そこから元町神戸へつながった面的な賑わいが、神戸の将来に不可欠と考えます。	都心の未来を考えるシンポジウム
		何でも三宮からものを見るのではなくて、やっぱり神戸駅のほうからも、ものを見ていかないといいませんし、新神戸とか北野のほうからも物事を見ていかないといいない。特に重要なのは、新神戸、それから三宮、それから神戸駅という端端、ポイントポイントになるところから切り込んでいって、新たな未来の姿というものを議論していただければ、非常にうれしいなと思っております。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	JR新神戸駅利用者の便利・快適性の向上	神戸海港都市づくり研究会提言	
	V-3 インフォメーションセンターの整備	JRのとこにあります神戸市のインフォメーションセンターが非常にどこにあるのかわからない。神戸市さんの広報、報道がもうひとつ。	第1回意見募集
		神戸の色々を伝えるインフォメーションセンターを三宮につくる。	300人会議
		観光事業見直し、再興が市の発展の鍵となるだろう。住民どうし観光客にも声掛け、街を楽しむ情報を汲み交う気持ちを持つ。観光客ばかりでなく、住む人こそ楽しくなる笑顔になるしかけをやらう。非常に知的な楽しい刺激のある機会となった。ありがとうございました。	300人会議
		国内観光客誘致ではアンパンマンミュージアム・UMI E等の新設で増加したから海外の観光客誘致等に言及が余り無かった。観光客のパンフを増やすのは、やはり外国人観光客の誘致。市内の外国人の案内所の増設、外国語併記の他国・パンフ等の他海外へのPRはもっとも必要と思う。	都心の未来を考えるシンポジウム
JRのとこにあります神戸市のインフォメーションセンターが非常にどこにあるのかわからない。		第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
インフォメーションセンターなどで、多様な言語での案内が必要である。（観光案内・標識）		第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
街並みの模型、または鳥瞰図のようなものを製作し、利用者がその街並みを上から覗き込めるような工夫をすることで、駅から主要スポットへの距離感等をイメージしやすくする（羅針盤のような機能を有するモニュメント、3Dなどデジタル対応も）。	神戸海港都市づくり研究会提言		
インフォメーションセンターは観光客や来街者だけではなく、地元の人々にも多く利用されることが望ましい。観光情報だけではなく日々のイベントやグルメなど幅広い情報発信を行うため、市内各施設、店舗、さらには市民などからの情報提供システムの構築が求められる。	神戸海港都市づくり研究会提言		
駅内インフォメーションセンターとしてよりわかりやすく、利用しやすい場所に位置するとともに、その機能強化をはかるため、神戸国際観光コンベンション協会やひょうごツーリズム協会等の観光・情報に関する主要施設・機関を誘致することで、神戸の玄関口に相応しい情報発信施設として位置づけることが重要となる。	神戸海港都市づくり研究会提言		
入手したい情報は利用者自身が判断・選択できることが望ましく、Wi-Fi環境等や各種情報アプリの整備が重要となる。さらに、多言語化された情報提供が不可欠である。	神戸海港都市づくり研究会提言		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
観光	V-4 外国人ハブの整備	観光都市として住みやすく、その地に住んでる人が住みやすいこと、そして、外部の人が訪れやすい町。安心してやっぱり子供を産んで育てる町であってほしい。・神戸の豊富な観光資源をどう結んで観光客を滞在させて経済活性を行っていくかの対策。観光都市としてもっと発展できたらいいんじゃないか。	第1回意見募集
		丘の町、北野・山本通は、他都市に類を見ない繁華街に隣接した絶景の住居生活ゾーンだ。これを一層押し進め、レジデンス・B&Bゾーンに。市民の生活ゾーンであると同時に、短期長期滞在者のための生活宿泊空間を特徴とする。古くからある広めの住居はシェアハウスとして、空き室はホームステイで、若い人たちに移り住んでもらう、またアーティストの工房やアトリエとして賃貸する。これら風体の楽しい人々が闊歩することで、エリアはにぎわい、その影響で観光客にとってもまた楽しめるエリアとしてリポートされる。	第1回意見募集
		TENTENを改装し、南側にクリエイター事務所や土産物店、旅行代理店TAKEOUT店を固め、北側に世界中のバックパッカーやショートステイの方たちのゲストハウスやドミトリー、簡素ホテルとして（近畿で充実していないのは神戸だけ）として提供する。	第1回意見募集
		神戸の観光は素通りが多い。神戸に宿泊して神戸のグルメを味わって、神戸の観光をしてもらうことが大切である（観光収入の増加）。神戸港に来る外国航路の観光客にも神戸観光を織り込んでもらうことも必要。外国人を神戸に宿泊してもらうためには外資系ホテルを呼ぶことも大切。	300人会議
		神戸の魅力（神戸ビーフ、灘の酒、神戸のパン、六甲山の神戸ゴルフ（日本最古）、中華街、有馬温泉）発信して滞在型（長期）の観光客の誘致。	300人会議
		外国人観光客誘致のためには、神戸といえばこれ、といった目玉のものがあればよい。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	北野では、外国人対応のコンシェルジュのような組織を考えている。また、異人館に宿泊できるような企画も挙がっている。	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	買い物をするエリアがまとまっていて良い	第1回意見募集	
	思い切って、三ノ宮駅を大商業施設にしても面白いかもしれません。観光資源が少ないので、ショッピングでも楽しんでもらえる街をめざしてはどうでしょう みなとまち神戸というイメージをさらに発展させることができないか。特区制度を利用してお得感たっぷり（たとえば免税）の海外文化（特に食文化）とのふれあい。さらなる核となるアイデアを民主体で事業化できないか。官は規制緩和、税制優遇など側面支援に徹するべき。官主体の事業はろくなことにならない。	第1回意見募集	
	高級ブランド・独自のブランド・ハイセンスなファッション・舶来品の度が多い	第2回意見募集	
免税店を増やしたほうが良い。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
外国の方は三宮界隈で買い物をする人が多いので、完全な免税措置ができるようなところの設置や、簡単に空港で税金のリファウンドができるような制度整備が必要である。買い物は神戸でしょうというぐらい、町ぐるみで免税ができればよいと思う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
免税店の増加を促進する施策の検討・免税店が増加するよう、免税店のPRや仕組みについて検討し、外国人観光客の神戸での消費を促進する。	中央区まちづくり会議提案		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
文化	V-6 歴史と文化に触れる空間	神戸の中心部としていくな文化施設が都心にあってほしい（個人的にはミュージカル）。文化面で神戸は先進地であってほしいし、三宮はその代表としてもっと頑張してほしい。・お洒落な店や人がもっと増えるように、店や人が引き立つような、出店したくなるようなまちづくりをしてほしい。とにかく気品ある「日本一美しい街神戸」を目指すべきだと思うし、神戸はその資格と責任があると思います。全国からみんなが来たくするような街を目指すべきです。 その一つでいいんです！！	第1回意見募集
		神戸にはたくさんの魅力ある建築物、風情ある街並みがあるにもかかわらず、神戸以外から三宮又は元町駅に降り立った時に、「神戸に来たんだ！」と、感動を覚える事ができない	第1回意見募集
		広域集客に傾倒するのではなく、神戸市民の暮らしの満足度を高めることにより、それに周辺都市市民が魅かれ神戸の都市ブランドが高まれば良いと思います。	第1回意見募集
		「神戸」は全国的なブランドです。これを活かさない手はないです。神戸の良さはほかの方のアンケートにありますから改善点をあげます。神戸市民は神戸から離れたがりません。それは住みやすい、環境もいい、みんな満足していると思います。「住みやすい街」です。でもそれは市民だけ。だから意見がでないのです。観光客は日帰りが多いのではないのでしょうか。大阪、京都などにながれていると思います。観光地の分散化をどうにかして神戸に踏みとまれるようにもっていくことが必要だと思います。他にない都市の魅力がいっぱいあります。酒、山、海、ファッション、文化施設など再認識していただきたい。	第2回意見募集
		代官山にある葛谷書店が神戸に誘致されたら良いと思う。	300人会議
		住んでいる方にとっての都心の魅力である、文化的なものに出会えるということを探していけば、外から来られる方にとっても魅力的なまちになると思う。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	V-7 ストリートミュージック	歴史的遺産が十分活用されていないのではないかと。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	神戸の魅力としては、この近代遺産であるビル群ですね。魅力的なビル群、建物たちがあるので、それをもう少し利用したほうがいいのではないかと。例えば、神戸はイメージとしては文化的なのですが、実は文化施設は少し乏しいというところがあります。人がたくさんいる場所の中にこのような文化的な施設を設けるということは、神戸の魅力を増すことに必要なのではないかなと思っています。神戸の博物館、あの建物はいいんですけども、かつての大変な経営資源ですけど、それを新しいデザインで、二重の中で表現していくことも可能性があるとあります。	「デザイン都市・神戸」創造会議	
	駅の中心線は、阪急は西に寄っており、JRは東に寄っています。これを重ねて、駅という形で一つに構成し直したら、全体としてももう少し規模の大きなものにならざるを得ないと思います。西宮には芸文センターがあります。でも、神戸は国際会館が辛うじてあるだけです。あとは文化ホールというのがあるだけです。そういうものを、どうして都心に持ってこれないんだろうと思います。	「デザイン都市・神戸」創造会議	
	一番残念なのは、三ノ宮駅南側、さんちか出口付近の交差点での路上ライブ禁止です。数年前から、さんちか側、交通センタービル面に赤コーンを設置し、路上ライブ禁止していますが、結局向かいのALBA像(長らく修理中)前で演奏しています。禁止の表示はさんちか(神戸地下街)がされているようですが、単に禁止にするのではなく、路上ミュージシャンを育てるように、代わりの場所やルールを設けるなどしてほしいものです。	第1回三宮構想会議	
	元町～三ノ宮間の歩行者天国。道路には路上カフェ。路上ライブ(ジャズのみ)	第1回意見募集	
	神戸はストリート文化もしっかりとあります。BMX、スケートボード、音楽、ファッション等、若者がはげむものにもしっかりと注目して認めて一緒に発信していける場のづくり。新しい神戸の魅力づくりにもつながるといい。	第2回意見募集	
	夜市民が憩えるまち(音楽、大道芸)	300人会議	
	V-8 ARをもちいたまちの情報提供	情報化社会での大規模地震の経験、復興センターなどを活用、世界に発信する、来て体験してもらう。	対話フォーラム
	山と海が非常に近く、高密度の街が形成されているため、歩いて観光地や商業地区を見てまわることができる。このことから、観光について、考えた場合、より歩きまわりやすくするため歩道の拡張や市がつくる観光用アプリと観光地のWi-Fi整備をすすめることで、市外の人や外国人にも歩きまわりやすい都市を作ることができること。	300人会議	
神戸市作成の観光マップがわかりにくく、看板案内なども不親切である。(歴史・文化)	第2回意見募集		
公衆無線LAN等の環境づくりや旬な情報を幅広く発信するアプリの提供など、ハード・ソフト両面での整備を行う。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会		
V-9 ガストロポリス	神戸牛のような高級食材から安価なB級グルメ、スイーツまで、神戸を堪能できる飲食店が多い	神戸海港都市づくり研究会提言	
モダンな雰囲気、流行やグルメの発信源として魅力的。	第1回意見募集		
どのお店でご飯食べたり、コーヒー飲んだり、パン食べても、間違いなく美味しい！	第1回意見募集		
神戸はパン食文化の先進地「焼きたての手作りパンの香りが漂う」街	第1回意見募集		
グルメやスイーツがおいしい	第2回意見募集		
グルメが多様	第2回意見募集		
神戸はオシャレな港町、というイメージを持っている人々が多いと思う。それ由、グルメにしてもファッションにしても上品なイメージを大切に持ち続けることだと考える。	第2回意見募集		
神戸未来体験、神戸グルメツアー等	300人会議		
神戸経済の活性化(世界各国のグルメ展)	300人会議		
神戸の「食」産業の持続的発展・各国料理やパンなど神戸の強みである「食」産業を活かしたまちづくりを推進する。	中央区まちづくり会議提案		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
防災	VI-1 駅前オープン空間の整備	<p>新神戸、三宮、元町、神戸近辺を歩いていて思うのですが、歩道近辺にベンチや東屋の休憩所が点在しているといのではないのでしょうか、この休憩所には周囲に花壇や水場を設け小さな公園のようにすることで、観光客や買い物客がひと時足を休めることができ、景観も向上するのではないのでしょうか。高齢化も進んでおり、観光にも買い物にも少し座れる場所があると人にやさしい街になるのではないのでしょうか。またここには観光地図も設置することで普段は休憩場所であり、観光客の道しるべ、大規模な災害時には徒歩帰宅者の支援場所になります。</p>	第1回意見募集
		ターミナル施設整備と併せて都市機能の必要諸施設をじっくり検討して頂きたい。保育所や郵便通信局は当然、災害時の緊急拠点など公益的な施設の盛り込みも検討するべきだと思います。	第1回意見募集
		震災から復興した街として、世界に誇れる防災拠点、情報拠点を備えた都市であることを発信してほしい！停電になると、どんな時間帯であろうとである。避難はでき、支援が得られ、すべき行動が解ること！！海拔から考えても、その拠点は駅周辺かその北側になるのであろう。	第1回意見募集
		世界をリードする街として環境配慮し、災害に強く利便性の高い街。シンボリックなものとして地震に耐えられる世界一高い超高層ビルを建設する。	第2回意見募集
		世界で様々な災害によって被害をうけている地域があるが、そういう地域の指標になるような街になってほしい	第2回意見募集
		防災の観点から三宮駅前に広場を拡張するべきだと思います。	300人会議
		三宮駅前の一等地に集客可能なフリースペースが作れませんか。使用に制限は必要と思いますが、災害時に避難場所にもなるような、行き場がなくてたむろっている若い人がちよっと集まれる、自分たちでそのスペースを管理できるような場所でも大きなイベントも開けられる、集客性の高い場所。	都心の未来を考えるシンポジウム
		活気ある駅前空間の形成、それから便利な交通機関、こういうのは、地元を含む皆さん、もちろん他の交通事業者の皆さんと一緒にやっつけていかなあかんとおもいますし、まちとの繋がり、こういったこともしっかり伸ばしていかなあかんとおもっています。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
	VI-2 多言語サインシステム	大規模災害等における広域避難広や防災情報基地としての機能をもたせる。	神戸海港都市づくり研究会提言
	VI-3 雨水貯留施設の整備	災害支援型自動販売機や防災型ショッピングセンター、診療船など もっと防災や医療への対策を充実して欲しい。	第1回意見募集
	VI-4 街キャンブ(Study Survival)	神戸らしい防災・減災への提案・阪神・あわじ大震災の教訓を生かした取組み→震災対策を無視した街作りはしない・させない・火山以外の自然災害要因が全てそろっている街として先進的な取組みを打ち出す→広島と協力して土砂災害先進都市になる。※具体的な目標(人的・物的ヒガイをどれくらい減らす、災害後の社会の適応性を〇〇まで上げるなど)を立てると、具体的な対策を打ち出すことが大切かと思えます。ビジョンが定まらないと市民の意識はバラバラになると思います。○情報発信の仕組み・情報受取りの弱者(ITに弱いまた、耳が遠い、孤立をしている高齢者など)へのケアをどうするかが課題ではないかと思えます。	都心の未来を考えるシンポジウム
	今すぐにもでやらないとならないと思うのは、人への安全対策等、人に対して優しいまちづくり、そういったことを真剣に考えるべきだと思います。	第1回三宮構想会議	
	防災対策④市民参加型情報共有システムの開発・地域情報や地域の危険箇所情報を、様々な手段により収集し、市民と情報共有するためのシステムを開発する	中央区まちづくり会議提案	
	情報インフラの整備・駐車場や公園をはじめ、あらゆる施設での情報発信端末の整備や、Wi-Fiなど情報通信環境の整備を行い、まちの利便性を向上させる。	中央区まちづくり会議提案	
	防災 世界的にも被害の大きい阪神大震災を経験した神戸。この経験をもとに、防災に強い街にし、外国の方々にも安心して来ることができる街。世界一災害に強い都市を目指す。	第1回意見募集	
	災害に強い安全な町で20年後もあってほしい。より一層安心に暮らせる安全な町であってほしい。	第1回意見募集	
日本各地域のモデルとなる防災都市	第2回意見募集		
今あるものを最大限に利用する。防災に強い街づくりが必要。特に三宮周辺は土地が低いので「水」に関わる対策は早急に必要です。地下はもういっぱいなので、屋根付きの何かを考えるべき。	300人会議		
将来ビジョンにつながる新たな防災対策のお話があるともっとよかったです。	都心の未来を考えるシンポジウム		
1人当たりの神戸市の公園面積は政令指定都市比較で1位です。これからの将来を担う子供たちの遊びの場所、学びの場所としての公園をもっと有効活用できるような神戸になって欲しい。子供が外で遊ばなくなった、ゲームばかりするようになってきたのは、公園でのボール遊び、花火、回転遊具、バーベキューの禁止など大人の都合のルールせいではないでしょうか。人と人が触れ合える神戸の街になって欲しい。	第1回意見募集		
5～6年前に(500人会で)貿易センターの南空き地にドングリの木を植えました。これを思い出しまして、この空き地に神戸らしい港のある神戸の町にゆったりとした遊歩道&サイクリングが出来る公園を町のシンボルにすることを思いつき又、災害の目やすになる取り組みも取り入れる公園造りをとしたいと思います。	第1回意見募集		
情報化社会での大規模地震の経験、復興センターなどを活用、世界に発信する、来て体験してもらう。	300人会議		
一時滞在施設の確保などの帰宅困難者対策の推進による、在勤者・来街者の安全・安心を確保する。	中央区まちづくり会議提案		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
環境・エネルギー	VII-1 ルーフトップパークの整備	海沿いにオープンエアのおいしくて、雰囲気の良いバー、レストランがあればうれしいのですが。東南アジア風、欧米風いろいろ考えられますが。冬は厳しいでしょうが、いい季節限定で。できれば駐車場もあればいいですね。高層ビルの屋上にオープンエアのバー、レストラン（法的な問題あり？）バンコクのドームみたいな感じがいいですね。観光客がくるのでは。	第1回意見募集
		街路樹や並木道などつくり、植木を植え、ビルにも屋上ガーデンをつくらせ、緑がある空気のきれいな環境をつくる。	第1回意見募集
		建物の2階をつなぐ アメニティのある歩行者デッキで回廊させ、新たなエントランスフロントを造り、歩行者空間を立体化させる	第1回意見募集
		緑としては東遊園地等の公園や街路樹があるくらいで、他の都市にあるようなビルの公開空地を緑化して、都市の中に自然に緑が配置してあるような空間が少なく感じます。	第1回意見募集
		再開発はどうしても行うならビルを建てるのではなく、屋上緑化で子供たちが遊べる巨大公園を作ってほしい。	300人会議
	VII-2 電気・熱融通システム（エリアBCP）	街・都市と自然の共存・両立。街の統一感としての緑化、街路樹、レンガ石畳。街を公園に「公園都市神戸」	300人会議
		神戸は見おろす景観として屋根の部分も非常によく見える場合があります。例えばそこを緑化し、あるレベルで緑がつながっていくということも考えられる。	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		神戸は未利用熱資源に恵まれています。例えば工場廃熱とか、あと海、海水ですね、それから地下水、下水といった未利用熱があります。未利用熱をコンパクトなまちの中でうまく使っていくという仕掛けが考えられます。海が近いので、海水が利用でき、山に近いので山のほうから地下水が流れてきている、この海水、地下水に加えて下水、それから工場廃熱。清掃工場だけでなく、製造工場も含めた工場廃熱を熱エネルギー資源として都心でコンパクトに都心居住に適した都市施設が生活圏内にまとまっている。	第1回意見募集
		観光地から商業施設まで、魅力溢れる街だと思います。一方で辛かった震災も経験している街ですし、人と人が協力しあえる、より一層安全に生活できる街になってほしい。	第1回意見募集
		山・海・街の近さと一体感、コンパクトな中に様々な要素が揃う利便性・豊かさ・バランスが強みだと思います。	第2回意見募集
	VII-3 水素エネルギー	未来のまちづくりとはコンパクトなまちづくり。	300人会議
		神戸は震災を乗り越えてきた歴史をもつ立派な市民性を持っているが、その教訓を活かし、将来的には「安全・安心」や「防災」の視点が欠かせないのではないか？神戸市の民間・行政の力だけでは抜本的なまちづくりには限界がある。大阪、京都の経済界、行政と率直な意見交換を行い、本当の意味での役割分担、特色づくりが必要ではないか。このままでは全国格一的な駅前再開発に終わってしまうのではないかと。国家的視点、国家プロジェクトの導入必要。	300人会議
		C02フリー 最先端技術を導入したまち・環境先進性をイメージした ランドマーク的な建物が中心部に、C02フリーとなるエネルギー供給センターを臨海地に整備。	第2回意見募集
		神戸市自身必要とするエネルギーは他県よりもらっている。（他にたよる）自前でそのエネルギーをもつ方向性がみえない。日本全体でもエネルギー自給率は数%でしかない。自給する意気込みが必要であると思う	都心の未来を考えるシンポジウム
		再生可能エネルギーを街づくりにくみこんでください。	都心の未来を考えるシンポジウム
	VII-4 コミュニティサイクル（コペリン）	都市内での熱の有効利用策を実施し、日本一安い熱料金の都心、冷房、暖房、給湯の料金が安い都心を実現するという目標を設定することを提案したい。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		観光とエネルギーを上手く結びつけることは出来ないだろうか。これにより、東アジア圏からの視察旅行も増えるだろう。	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		道路上に放置自転車や放置バイクが多く、景観上見苦しい（特に、神戸駅や三宮駅周辺）。	第1回意見募集
		シェアされた自転車のフリーウェイを設置するバイクシェアリングシステムの構築もこれからの人にやさしい街には必要だと思います。	第1回意見募集
		ウォーターフロント側やポートアイランドなど、端部や周辺地域と一体感を出していくためにも、気軽に使える交通手段も必要である。レンタサイクル、バス、LRTなど、どれにとってもデザイン性と簡単に乗ってしまうということが重要と考える。	第1回意見募集
VII-4 コミュニティサイクル（コペリン）	自転車道路を整備し、レンタル電動アシスト自転車を新神戸、三宮、神戸に配備し、どこでも借りたり返したりできるようにする。	第1回意見募集	
	三宮駅の北側をよりキレイにするため、駅周辺をいこいの広場にして、電動自転車貸出し場も設置。より広い範囲で神戸を感じれるようにしてほしいです。	第2回意見募集	
	自転車道も考え観光者用の貸自転車も一考を。神戸の良さ（点）を線で結び、エリア毎に楽しめるアイデアの提示を（その中に歴史、含め点を含める）。	300人会議	
三宮-元町-神戸は歩道が狭いので、高架のサイクルロードを作って観光客にレンタサイクルを提供したらどうか？	都心の未来を考えるシンポジウム		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
交通	VIII-1 効率的な交通システム	<p>グラフ神戸で常に古い神戸として、印象に残るのは「市電」、LRTがいいとは言わないが、1日200円乗り放題で、しかも海際を走るLRTかコミュニティバスかを走らせ、回遊性と親水性を確保する 新神戸駅のアクセスも非常に悪い（玄関口としてはふさわしくない）ので、新神戸ー三宮一元町ーメリケンパークーハーバーランド（枝分かれて北野地区のループ化）で路面電車をLRT化で観光と移動を両立できる新たなアクセスとして復活をさせるべきだと思う。 非常に美しい街です。乗り物が不便です。このエリア限定でも路面電車を走らせては？ せっかく過去の外国人が造った美しい街を近代の日本人が他都市と同じ無機質なものにした感がある。ハーバーランドは交通が非常に弱い。 現在シティループバスは、点を結ぶ線路上での運行であるが、将来の都心構想エリアを東西、南北を環状的に運行し、歴史、文化、観光の施設を有機的に結び利便性、集客性を高めてもらいたい。</p>	<p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p> <p>第1回意見募集</p>
		<p>交通の便、回遊性が非常に悪い。ウォーターフロントへの移動手段として、地下鉄海岸線三宮駅は絶対に利用しない。それぞれの駅から海岸線までの距離が中途半端にある。まず、地下鉄海岸線を残すのであれば、山手線との相互乗り入れが絶対条件。また、海岸線は駅の立地が悪いが、海沿い（浜辺通付近からモザイクにかけて）に新たに駅を新設するのは難しいと思うので、ここには市長が公約にも掲げるLRTを通す。その上で、既存の街並みの概観（上屋等）を生かしつつ、飲食店を誘致し、駅南側は現在の「眠る街」の印象を払拭する。駅北側（北野町周辺は除く）と南側で明確にコンセプトの差を打ち出し、北側は高架下の飲食店を中心に、東南アジアの露店街をイメージしたフードコートストリート（冬はストーブやビニールカーテンを設置しあくまでも屋外）を設置し、福岡名物である屋台通りに対抗する。駅南側はウォーターフロントに気軽にに行ける価格帯（オシャレ過ぎて高価な店舗ばかりでは意味が無い。個人的にはぜひ日本酒とポートワインを拮抗させて欲しい。）で、香港や上海のウォーターフロントをイメージしたこじやれた飲食店を誘致し、大阪同様、「キタ」に飲みに行くか「ミナミ」に飲みに行くか、同レベルで検討されるスケールまで持っていく。そのためにはLRTが必須。広島もそうだが、路面電車はバスや電車と違い、乗る際にためらいがない。「とりあえず乗る」といった感覚で、まさに「気軽に」利用する。停車位置の間隔も絶妙な間隔となるように配慮すれば、目的地を決める前に、「まず乗らせる」ことも可能と思う。また、LRTはウォーターフロントから異人館の方まで繋げるべき。北野町は魅力的な町だが、坂道のため地元人は徒歩で気軽には行けない。観光客も苦労して行っているのを目にする。現在の無計画に追設したとしか思えない交通網を改め、神戸のコンパクト感と手軽な移動手段がマッチングした街づくりを路面電車の復活を！現在の「シティループ」バスを廃止し、ほぼ同一路線を建設。ガイドも同乗させて「親切な案内」は継続する。本来なら「神戸市電の復活」が望ましいのでみどりのツートンカラーに塗装。できれば交通局直営とし、やむを得ない場合は交通局運営（実体は交通振興社員でも可）</p>	<p>第2回意見募集</p> <p>300人会議</p>
		<p>LRT（トランジットモールを主体として）をぜひ実現して欲しいと考えます。</p>	<p>対話フォーラム</p>
		<p>和田岬線のLRT化→富山型LRT</p>	<p>対話フォーラム</p>
		<p>観光資源を結ぶ交通手段の確保（昔の市電のようなもの→LRT、BRT）・外国人の受け入れるインフラ整備（観光バス乗降場の整備）大阪市の日本乗降場のようなもの・東灘スイツパスの成功（お席とお店を結ぶバス）←バスの存在が大きい・三宮のループバス（LRT、BRT）→現在のシティループバスのネットワークは不便（元町にいかない）→観光資源を結ぶ（六甲山-三宮-中華街-港）・観光資源はあるが、それらを結ぶ交通手段がない。</p>	<p>都心の未来を考えるシンポジウム</p>
		<p>高齢者が多くなりますと、やはり南北に交通網を整備というのは大事なんじゃないかなと思っています。それで、路面電車の復活というのは、南北に、トアロードの東天閣から、大丸通して居留地まで走るとなるといいのになと思います。それは観光客にもいいかもわかりませんが、日常生活にとっても市民の足となるような整備ができればいいのになと思っています。それがLRTありきの路面電車の復活というのは、どうなのでしょうかなと思っています。</p>	<p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>神戸は交通面がすばらしく、陸では鉄道、それから新幹線、高速道路があります。空港もあり、港もある。陸海空の交通機関が全てそろっている素晴らしいまちです。また、特徴として、山と海が近くて、高台から海が望めたりと非常に魅力があるため、人気があるのだと思います。そのような中で、陸海空と交通が整備されているものの、十分に活かされていない部分があるのではないかと思います。</p>	<p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>それぞれの交通手段を見たときに本当に移動しやすいのかどうか、組み合わせるときの移動しやすいのかどうかという視点で見たときに、先ほどもお話ししましたが、なかなかまだ神戸ってというのはわかりにくいところがあるんだろうなと。</p>	<p>第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>情報通信分野と交通インフラ整備を組み合わせ、ストレスなく移動、滞在できればよい。</p>	<p>第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>交通政策基本法などが新しく制定されたため、LRTやBRT、トランジットモールなどの整備に国の予算を有効に利用してほしい。</p>	<p>第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>元町駅が一番左の端のところからフリッジパーキングをつくって、そこから商店街を歩かせて、三宮の方に誘導することが一番理想だと思います。</p>	<p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>
		<p>I台の容量は大きくはないけれども、それが非常にフレキシブルにフリーケンシーに動くバス。そして回遊する移動に応えられるような、便利な交通システムが、このITが進化している中でできるのではないかと。それから市内各所でいろんなイベントや学校等がありますから、やはりシャトルバス型、つまり路線で途中で停留所があって、そこで必ず停まって乗ったり降りたりするのはなくて、ピストン運行するタイプのものがあればよい。あえて言うなら、観光ではなく、シティループ的なものと、シャトルバス、これの組み合わせでかなり域内交通サービスは充実するのではないかなと思っています。</p>	<p>第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会</p>

8つの軸	施策名称	意見	会議名
交通	Ⅶ-1 効率的な交通システム	<p>ループバスを使うという計画も書かれていますが、それだけではなくて、既存の路線の延長ということも考えていただけたらどうかと思います。そうするとコストもそんなに高くないと思います。具体的に言いますと、2系統、9 2系統を神戸駅の南まで延伸していただいて、元町商店街、ハーバーランドを通っていくくらい延伸していただくと、コスト的にもいけるのではないかと思います。</p> <p>三宮中央通りというのは、センター街の南側に平行して、居留地との間にあるわけですが、この中央通りがちょうどある場所、フラワーロードから鯉川筋の間ですが、このエリアをきちんと組み立て直していかないと、結局、三宮駅だけがよくなるということになり、だめだと思います。三宮から元町に至るまでの間を、交通機関も含めてどんなふうに組み立てていくのかということが、都心の構想を詰めていく中で、どうしても必要なことになると思っています。</p> <p>交通の南北軸をもう少し強化すると、全国からのお客様が国土軸としての新幹線、港、空港などから来ていただくときに便利になる。それがちょうどクロスするのが三宮駅ですので、その三宮を活性化するのは、非常にプラスになるのではないかと考えています。駅を含めた3層ネットワークを結べば、非常にコンパクトで乗りかえが便利になると思っています。</p> <p>ミント神戸のところに、南へ渡る横断歩道橋があります。それから交通センタービルのところにも横断歩道橋があります。あの間を全部デッキにしようという案を書きました。それから、ポートライナーはミント神戸のところで左に大きく旋回しますが、それをミント神戸のところにレベルを合わせて駅を持ってきて、J R、阪急をまたいで東側に少し緩やかにぶつて、そして生田川を上げていって、新神戸駅まで上げていくというラインが引けないだろうかということも考えています。</p> <p>高齢者がふえてくると、歩くのが大変だという人も当然ふえてくる。そういう人に対する対策、そういう方が利用できる車でない交通手段が必要である。</p>	第4回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		集積する公共交通機関の乗りかえの利便性が低いのではないかと。	第1回三宮構想会議
		自動車を制限して新たな都市交通のあり方を整備することも有効ではないかなと思っています。	第1回三宮構想会議
		ウォーターフロントを含む都心エリアの回遊性向上と産業・経済を支える都市基盤である陸・海・空の交通システムの総合的な整備及び活用は重要な役割を果たす。	第1回三宮構想会議
		J R三ノ宮駅を起点とした周辺地区循環型の交通網整備（例：周回バス	第3回三宮構想会議
		ハーバーランドからポートターミナル、HAT神戸までウォーターフロントの交通網整備（例：LRT）	「デザイン都市・神戸」創造会議
		都心エリアのトランジットモール化（例：小型周遊バスの運行）	「デザイン都市・神戸」創造会議
		デザイン性が高く、小回り可能なコミュニティバスを導入し、区民の南北の交通手段を確保する。	神戸海港都市づくり研究会提言
		都心部におけるバス路線の見直し・小型循環バスの導入・住民や観光客が利用しやすいよう、既存の市バスやシティーバス路線の見直しや、小回り可能でデザイン性の高い小型循環バスを導入する。	神戸海港都市づくり研究会提言
		都心からウォーターフロントへの誘導・新たな交通手段（LRT・BRT）の導入などを行い、都心とウォーターフロントの回遊性を向上する。	神戸海港都市づくり研究会提言
	Ⅶ-2 新神戸-北野デッキ（エリア間を繋ぐ動線整備）	<p>フラワーロード北端部（J R新神戸駅、布引ロープウェー乗り場周辺）布引ロープウェー乗り場となるオリエンタルプラザ南側の接続部の改良として、オリエンタルプラザ前地点には大型モニュメントを設ける。モニュメントはアーチ型としてフラワーロードの起点と布引ロープウェーへの誘導を示唆する表示、飾りを施したもので夜間には特にイルミネーションにより浮きあがるイメージの構造とする。J R新神戸、特に現在の中央改札のある2階面からフラワーロードへの人の移動のための主要なルートがなく、新神戸駅からフラワーロードまでの接続点となる生田川公園までには生田川を中心とした直線の歩道を大通りまで接続する遊歩道を新設する。また、J R新神戸から布引ロープウェーへ接続する遊歩道を新設する。</p> <p>阪急三宮駅の建て替えにあわせて周辺を再開発し、北野坂をそのまま三宮駅まで一直線につなぎ、三宮駅→北野異人館街へと誘う「山を感じる異国情緒あふれた歩行者専用道路」にする。・J R三宮駅の建て替えにあわせて国道2号や税関線をまたぐデッキを整備し（事例：阪急川西能勢口駅の南側デッキ）、東遊園地やみなとのもり公園→デザインセンターへと誘う「歴史・文化を感じる魅力的な歩行者動線（テーマ：震災、スポーツ、旧生田川など）」を整備する。・市内外から電車て来た人が「歩いて神戸らしさを楽しめる都心」になってほしい。</p>	第1回意見募集
	三宮から新神戸に歩いていくときの加納町3丁目の陸橋を良くしてほしい。	第1回意見募集	
	J R神戸駅からJ R元町西口間の高架下のモトコタウンと、阪神元町駅とJ R元町駅の地下街に跨る「元町有楽名店街」は、神戸でも数少ない昭和レトロな雰囲気が残る空間である。しかし、最近経営者の高齢化等により出店している店舗数は減少の一途を続けている。また、建築基準法上の問題や地権者との権利関係といった課題もあると思うが、両方とも三宮、元町から神戸駅に至る動線に該当するため、少しの創意工夫で都心の活性化に繋がると感じるため、市と地域が連携して活性化に寄与する方策を検討することを提案する。（検討案）	第1回意見募集	
	神戸に残る「和」と旧居留地の「洋」を足し、三宮駅前を中心に大きな集客施設を集中し、ケーブルカーなどで、市内をつなぐ（三宮・元町・神戸間は近いようで遠い。もっと時間的・体力的・心理的・金銭的距離を短くする必要がある）	第2回意見募集	
	新神戸駅（布引）から三宮への道路の景観をよくして歩行してフラワーロードで海までいけるよう都心を路面電車できくく囲み、その中を基盤の目のように行き交う人によりやさしい乗り物で移動でき、その外に壁のような駐車場を設けて車を入れない空間を作る。	対話フォーラム	
	神戸に住んでいる者にとってはわかりやすい街であるが、よそから来た人には、全体像もどこに何があるかどういことができるかもわかりにくいと客入を案内するときに思います。ピンポイントで、すてきな物がたくさんあるのでそれをつなぐわかりやすい街になればと思います。神戸らしいオシャレ感も必須ですね。	都心の未来を考えるシンポジウム	
	神戸は横に細長いまちなので、山手幹線道路、それから鉄道の高架、それから南側の2号線から繋がっている西へ延びる道路、それで分断されています。高架から南側はかなり集客があって人通りも多いんですけど、なかなか南北に歩いて流れる人っていうのが非常に効率悪く思う。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	加納町の歩道橋が非常に悪くて誰も通らない。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	北野坂へ行きづらい。神戸は南北が坂道で歩きにくい。北野町へ行く道を、三宮や新神戸から通していくことも考えた方がよい	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
	新神戸駅を降りてから、北野へ至るアクセスが非常に悪く、人優先の交通体系になっていない。	第3回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会	
元町と三宮という二つの拠点がある中で、駅と都市との関係が、うまく都市構造的に整理できなかった。そういったところで都市と駅との関係が難しい状況になってしまったと思います。神戸は歩く町だと思いますので、巨大なものをつくるのではなくて、つくらぬことによる魅力づくりもたくさんあると思いますし、そういうスケール感がある町ではないかと思っています。	第1回三宮構想会議		
歩行者優先公共交通の優先空間、これは大賛成です。人が地上空間を楽しく歩ける、これが基本だと思います。例えば北野町と言ったときに、新神戸からおりましたら北野町にどうやって行くのですか。行く道もないわけです。	第3回三宮構想会議		

8つの軸	施策名称	意見	会議名
交通	VIII-3 ゾーン内均一料金制度	神戸のシティループは1回250円、1日券650円とかなり高い。	第1回意見募集
		海外の都心のように色々な交通手段（JR、阪神、阪急、市営地下鉄山手線、海岸線、バス）が1枚のチケットで1日乗り放題となる交通料金制度を創設し回遊性の向上を図る。	第1回意見募集
		交通網の整備（一日定額乗り降り自由なループバス）・日本の神戸にしかない施設、建造物の作成（施設）カジノ、遊園地、アトラクション施設新神戸～神戸付近は土地の確保が難しいので、ポートアイランド等に建設しポートアイランドと主要部を結ぶバスや神戸へは、船もよいと思う。船便は垂水や明石へも出しても良い。船も乗り降り可能なフリーバス対応。	第1回意見募集
		定額制で、乗降が容易な海外のトラムのようなもの、あるいはもっと小規模なシティーカーを走らせるなどもあり得るかもしれません。	「デザイン都市・神戸」創造会議
		JR・阪神・阪急・市営地下鉄・バスと交通インフラは整っているが料金が安い。	第1回意見募集
	VIII-4 新バスターミナル	鉄道網の接続の悪さ、バスターミナル・駅前空間の狭さも目立つ。	第1回意見募集
		バスターミナルの分散や自動車ロータリーの不足など、他県の中心都市と比べ脆弱な点が多いように思います	第1回意見募集
		バスターミナル、特に市バスのターミナルはどこのかわかりません。ミント神戸の辺りとか神姫バスのあの辺りがバスターミナルとしては不十分じゃないか。	第1回意見募集
		三宮の再開発について：交通機関（特にバス、乗用車）のスムーズな発着を優先する。道路を含めた都市装置の一体化。バスターミナルの再配置、集約、高度化。（特に神姫バスが狭小化している）	300人会議
		神戸は交通機関が整っているようで人のアクセスを含め不便（バス停もバラバラ）。三宮がKEYになりアクセスしやすいようにすればいいのでは。みんなが神戸好き。それぞれの神戸がある。神戸を想う、愛する気持ちをはぐくみ続けることが一番大事なのではないでしょうか。	300人会議
		交通結節点である駅前には乗り換え利便性、バスターミナル等の交通機能に加えて、賑わい空間の創出や周辺への歩行者ネットワークなど多様な機能が求められている	都心の未来を考えるシンポジウム
		バスターミナルの整備というのは大事なと思います。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		なかなかバスターミナルを1カ所に集約するというのは難しいかとは思いますが、長期的にそういったターミナルの整備をお願いしたいというふうに思います。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		三宮のターミナル周辺がごちゃごちゃしていて、問題は、乗り換えも、ほかから来た人はね、我々はここで働き生活しているからわかりますけども、本当に初めて来た人は、「何や、これは」と、乗り継ぎするにもね。バスなんか乗り換えようと思ったら、「どの停留所へ行ったらいいんだい」とこうなっているのが実態なんです。	第1回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		交通事業者としては、バス乗り場を集約できればと考えるが、総合的な観点で利便性の高いものを整備する予定である。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		イベント時には観光バスがあふれて渋滞となるため、観光バスターミナルを設置してはどうか。	第2回神戸の都心の『未来の姿』検討委員会
		路線バスは、他都市にもありますように、道路上でお客さまを乗降させる。これはやむを得ないと思いますが、高速バスとリムジンバスは、一点集中型にしないと利用者は非常に混乱します。したがってそういう形を検討していく、ちょうどいい機会だと私は認識しています。	第1回三宮構想会議
		リムジンバスを使われるお客様にとって、降車する場所と、乗車する場所が違うということは非常にわかりづらく、特に他府県から来られる方は、地図が頭に浮かばないようですので、説明が難しいです。こういったバスターミナルの整備を検討する中で公共交通の相互の円滑な乗りかえということで、神戸の方はもちろん、県外の方も観光等でご利用いただいていますので、乗りかえがわかりやすくできるように進めていただきたいと思います、思います。	第1回三宮構想会議
		東遊園地を2階にして上に運動場を作り、その下を全部バスの乗り場にする、そういうことも考える必要があるのではないかと思います。	第1回三宮構想会議
		バスの集約化については、場所を決めてもらわなければ地元としての検討・提案ができない。	第2回三宮構想会議
大型バスの滞留についてですが、現状は危険さあまりない状況が続いているということがあります。やはりバスターミナル集約センター等々というスペースが必要だと思います。	第3回三宮構想会議		
三宮周辺に散在するバス乗り場を集約し、鉄道（ひいては港や空港）と直結する本格的なバスターミナルを新設するなど、バスの充実をはかり、三宮で迷うことなく、市内各所はもちろん全国の目的地との行き来がスムーズにできることを目指す。	神戸海港都市づくり研究会提言		
JR三ノ宮駅南側広場の地上部分はもとより県道21号線の北側2車線、さらに、駅を囲む道路全体を活用するなど、方面別・路線別にバス発着を整理、集約、インフォメーション機能も充実させたバスターミナルを整備する。	神戸海港都市づくり研究会提言		
神戸らしさを感じる三宮駅及び周辺空間の整備(3)分かりやすく・使いやすいバスターミナルの整備・分散しているバス乗降所について、利用者にとってわかりやすく、利用しやすいようそれらを集約したバスターミナルを整備し、ターミナル機能の強化を図る。	中央区まちづくり会議提案		
バス及びタクシ乗り場の再整備・再配置により、神戸の玄関口にふさわしい、安全で利用しやすい公共交通ターミナルを形成すること。	未来都市創造に関する特別委員会提言		